



第11回常任理事会

日時 平成28年8月9日(火) 18:30～20:33
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・後藤・林・笹本・櫻井各常任理事、津田・篠島各監事(事務局：安達局長ほか12名)

協議事項

第1号 平成28年度会費減免に関する件 (三戸常任理事)

道医会費の減免申請者は、高齢免除954名、一般減免12名、研修医減免131名、出産育児減免3名の合計1,100名で免除額27,136,000円。日医会費の減免申請者は、高齢免除398名、一般免除13名、研修医減免124名、の合計535名で免除額11,694,000円となる。以上の減免を承認。

第2号 北海道医師会勤務医部会若手医師専門委員会委員の委嘱に関する件 (藤井常任理事)

当会勤務医部会設置規程に基づき、次世代を担う若手医師の意見を部会活動に反映させることを目的に専門委員会を設置し、当委員会に参画いただく委員は8月9日付をもって委嘱することと決定。

第3号 医療施設近隣の風俗営業施設建設に関する件 (三戸常任理事)

各都道府県公安委員会が建設許可を与える風俗営業施設に関し、医療機関と近接する地域における営業に関し、北海道条例による一定の制限を明文化していただくための要望書を北海道知事宛てに提出することと決定。

第4号 第2回郡市医師会長協議会 [11月13日(日)]の開催に関する件 (三戸常任理事)

11月13日(日)午前10時から当会館において標記会議を開催することと決定。

第5号 北海道医師会創立69周年記念行事 [11月13日(日)]の開催に関する件 (三戸常任理事)

11月13日(日)午後1時30分から札幌グランドホテルで開催する記念講演、記念式典、記念祝賀会の日

程と次第を決定。

第6号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件 (櫻井常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座45件、道医認定生涯教育講座45件の計90件を承認。

第7号 第3回理事会 [8月20日(土)]の議案に関する件 (三戸常任理事)

8月20日(土)午後4時15分から当会館で開催する標記会議の提出議題を決定。

第8号 その他

(1) 日本医師会各委員会委員の推薦に関する件 (三戸常任理事)

日本医師会より北海道ブロックに対し、20の委員会委員(21名)の推薦依頼があり、当会副会長3名ならびに常任理事14名のほか、当会会員の中から4名の計21名を推薦することと決定。

(2) 第4回理事会(移動) [10月8日(土)・小樽市]の開催スケジュールに関する件(三戸常任理事)

第4回理事会を10月8日(土)に小樽市で開催することを決定。

報告事項

1. 北海道災害対策本部指揮室設置訓練 [7月26日(火)]について (目黒常任理事)

本年7月に北海道庁本庁舎地下1階に整備された危機管理センターを活用して、大規模災害時に初動対応の指揮命令を担う北海道災害対策本部指揮室の設置訓練が行われた。本訓練は、大規模災害発生時における指揮室要員の参集と機器設備の動作確認、情報伝達訓練等を目的とするものであり、訓練開始当初は、指揮室要員が不慣れな機器の操作に戸惑う様子もみられたが、終了時には被災状況を把握し、知事に対応状況の報告が行われていた。

2. 第12回男女共同参画フォーラム [7月30日(土)・宇都宮市]について (藤井常任理事)

栃木県医師会の担当で「男女共同参画が医療界にもたらすメリットとそのエビデンス」をメインテーマに開催された。基調講演は、株式会社資生堂・前田相談役による「輝き続ける組織をつくる～資生堂の男女共同参画への取り組み～」が行われ、女性が働きやすい会社である資生堂が、育児中の女性社員にも平等なシフトやノルマを与える方針転換を打ち出したことは資生堂ショックと呼ばれたが、会社の制度だけに頼ることなく、ワークとライフを自律的にプログラミングして両立期を乗り越えようと努力している社員を、周囲の社員は激励し、働く仲間として互いに信頼を寄せ合い良い職場環境が保たれているとの話があった。次に、委員会報告ならびに特別報告が行われ、引き続き、シンポジウム「21世紀の男女平等とは何か～社会における男女の互恵関係を築くために～」では、4名のシンポジストがそれぞれの立場から講演を行い、ディスカッションの後「第12回男女共同参画フォーラム宣言」が採択され

た。参加者は361名であった。次期担当は、愛知県医師会である。

3. 第29回全国有床診療所連絡協議会総会 [7月30日(土)～31日(日)・静岡市] について

(伊藤常任理事)

静岡県医師会・篠原会長が大会長となり「これからの有床診療所～有床診療所を巡る諸問題、その改善策を探る～」をメインテーマに開催された。1日目は総会に引き続き、日医有床診療所委員会・小林委員長(岐阜県医師会長)ならびに日医総研・江口専門部長からそれぞれ報告があった。また、厚生労働省・神田医政局長から「今後の社会保障について～地域医療構想を中心として 有床診療所への期待～」、日医・横倉会長から「健康長寿社会に向けた日本医師会の医療政策」と題した講演が行われた。2日目は立場の異なる5名によるシンポジウムが行われ、有床診療所の最大の課題は看護師確保であること、診療科によっては専門性の高い有床診療所もあることから、一括りに取扱うことは難しくなっていると発言があった。次回は、来年7月1日～2日、別府市において「今なぜ有床診療所が必要か?～地域に根ざす有床診療所の役割～」をメインテーマに開催予定。

4. 平成28年度北海道医師会賞受賞者選定委員会 [8月4日(木)] について (櫻井常任理事)

札幌市医師会、北海道大学医師会、札幌医科大学医師会、旭川医科大学医師会より推薦のあった本年度の北海道医師会賞受賞候補者7名について審査を行った(選定委員長:旭川医科大学・吉田学長)。慎重審議の結果、7名全員を受賞者に決定した。

5. 医育ブロック会議 [8月4日(木)] について

(三戸常任理事)

三医育機関学長・科長等の出席のもと「地域医療構想について」をテーマに小熊副会長ならびに笹本常任理事から話題提供の後、意見交換を行った。

6. 女性医師等支援相談窓口コーディネーター連絡会 [8月6日(土)] について (藤井常任理事)

相談窓口で昨年度に面談対応したコーディネーターから、それぞれのケースについてご報告いただき情報の共有を図った。また、専用ホームページのアクセス件数や相談件数、育児サポート事業事前登録者数などの実績報告と本年度実施計画などについて協議した。

7. 女性医師等支援相談窓口利用者とコーディネーターとの懇談会 [8月6日(土)] について

(藤井常任理事)

相談窓口を利用した医師にお集まりいただき、利用者相互の交流、情報交換、要望をとりまとめ今後の支援方法に反映させるため開催をした。小職より「5年後のキャリアビジョン、10年後のライフビジョン」をテーマに話題提供の後、ライフイベントがある女性医師がキャリアを積んでいくために必要な

ことについて考え、意見交換を行った。参加者は利用者6名、併設した託児室での子ども預りは7名であった。

8. 「地域包括ケアシステムの構築の推進に向けた取組」第3回シンポジウム [8月7日(日)] について (林常任理事)

当会、北海道歯科医師会、北海道薬剤師会、北海道看護協会が共催し「最期まで笑顔で」をテーマに、北海道薬剤師会が担当し、岐阜県で24時間対応の在宅医療に取り組んでいる小笠原内科・小島先生による基調講演のほか、医師・歯科医師・薬剤師・看護職によるシンポジウムを行った。参加者は227名であった。次回は、北海道歯科医師会が担当となり、本年11月19日(土)午後2時から「おたる地域包括ビジョンの取組」をテーマに北海道看護協会大講堂で開催する。

9. 日医理事会報告 (長瀬会長)

第74回脳死下での臓器提供事例に係る検証会議の件等の報告の後、熊本地震に対する支援金、熊本地震におけるJMAT活動の終了、世界医師会(WMA)、日本専門医機構に対する資金支援の件等につき協議した。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。なお、事前の理事打合せにおいて、日本医師連盟委員長選出、妊産婦死亡削減戦略における輸血用血液廃棄率削減と有効利用への提言、第5回「日本医師会赤ひげ大賞」候補者推薦依頼、日医広報活動等についての意見交換を行った。

10. 外部各委員会報告

(1) 第5回新・北海道病院事業改革プラン改定検討会議 [7月22日(金)] について (小熊副会長)

今回は、広域医療を担う道立江差病院および羽幌病院の役割・機能について、両病院の設立経緯と必要とされる機能、運営体制、患者の状況等について報告があった後、協議を行った。北海道としては、当面は現行の医療機能、稼働病床規模を維持することとしているが、将来、急性期病床が過剰となり、回復期病床が不足する見込みであることから、首長、住民等の意見も踏まえて今後の方向性について引き続き検討していくこととした。

(2) 北海道社会福祉審議会 [7月27日(水)] について (長瀬会長)

本年度の北海道保健福祉部重点施策と予算、昨年度の開催状況の説明がなされた後、平成20年度から29年度末までの10年間の計画期間である、新・北海道保健医療福祉計画は、現在、高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画等、各分野で社会福祉関係各法に基づく計画が策定されていることから、次期保健医療福祉計画は策定しない方針が示された。なお、地域福祉支援計画を包含している保健医療福祉計画が策定されないことから、平成30年度からの地域福祉

支援計画を本審議会において個別に策定することとなった。

(3) 北海道医療審議会〔7月28日(木)〕について
(長瀬会長)

地域医療構想の概要、各二次医療圏における地域医療構想策定に向けた協議状況、今後の進め方などについて説明があり、了承された。

(4) 第1回小児等在宅医療連携推進協議会〔8月5日(金)〕について(三戸常任理事)

昨年度から北海道の補助事業として実施している小児等在宅医療連携拠点事業について、補助事業者である医療法人稲生会から事業内容の説明がなされた。その後、医療・福祉・教育・行政関係の各委員から、小児在宅医療に関する活動等について報告がなされ、意見交換を行った。

11. 中央情勢報告(笹本常任理事)

「高額療養費と後期高齢者窓口負担について」

7月14日に開催された社会保障審議会・医療保険部会において、政府が示した経済・財政再生計画改革工程表を基に、医療における高齢者の自己負担等の議論がなされたことを説明した。

12. 各部報告

(1) 当会の医療事故調査等相談窓口対応状況について(水谷常任理事)

7月12日から8月8日までに、当会相談窓口において当番の役員が直接対応した案件が無かったことを報告した。

13. その他

(1) 会員数について(三戸常任理事)

平成28年7月31日現在の道医会員数は、8,325名で、内訳はA会員2,468名、B1会員599名、B2会員4,623名、C1会員106名、C2会員141名、C3会員388名となっている。なお、日医会員数は、5,889名である。

(2) 都道府県医師会長協議会〔9月20日(火)〕の提出議題について(三戸常任理事)

都道府県医師会長協議会への議題提出および期限について確認した。

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 報告事項

(1) 日医理事会報告(長瀬会長)

第74回脳死下での臓器提供事例に係る検証会議の件等の報告の後、熊本地震に対する支援金、熊本地震におけるJMAT活動の終了、世界医師会(WMA)、日本専門医機構に対する資金支援の件等につき協議した。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。なお、事前の理事打合せにおいて、日本医師連盟委員長選出、妊産婦死亡削減戦略における輸血用血液廃棄率削減と有効利用への提言、日医広報活動等についての意見交換を行った。

(2) 日医各委員会報告

1) 国民生活安全対策委員会〔1月28日(木)〕について(山下理事)

「生活上の様々な脅威から国民生活を守る医師会～食品安全を中心として～」の会長諮問を受けて、従来の、いわゆる健康食品、栄養機能食品、特定保健用食品に加え、新しいジャンルである機能性表示食品等を中心に検討を行った。報告書には健康教育へのアプローチとして、医療関係者、食品関係者、国民一般に対する栄養教育等の多方面の啓発に言及している。(交通事情により理事会欠席のため書面報告)

2) 医療安全対策委員会〔6月8日(水)〕について(水谷常任理事)

会長諮問に対する最終答申「医療事故調査制度における医師会の役割について」の取りまとめに関する協議を行い、完成に向けた今後のスケジュールを確認した。なお、最終答申は、6月22日に平松委員長(広島県医師会長)から日医・横倉会長に提出された。

(3) その他

1) 医療施設近隣の風俗営業施設建設について(三戸常任理事)

先般、札幌市医師会・松家会長より「札幌市内の産婦人科医療施設の隣接地において、風俗営業施設(パチンコ店)が営業予定であることから、営業許可の根拠となる北海道条例の改正に取り組んでいただきたい」との依頼があった。北海道条例では、パチンコ店の建設に当たり、病院、有床診療所から離さなければならない距離が明文化されておらず、現状では「商業地域・近隣商業地域」において、医療機関の隣接地であっても、パチンコ店の営業が可能となっている。こうした状況を踏まえ、患者の医療環境を整備すべく、去る8月10日、当会会長名にて、北海道知事ならびに北海道公安委員会に対し、北海道条例を改

第3回理事会

日時 平成28年8月20日(土) 16:10～17:02

場所 北海道医師会 9階「理事会室」

出席者 長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・橋本・水谷・伊藤・生駒・笹本各常任理事、松家・佐藤・恩村・阿久津・倉増・古屋・稲葉・齋藤・千葉各理事、津田・藤瀬両監事、宮本参与
(事務局：安達事務局長ほか13名)

正するよう要請した。

4. 承認事項

(1) 母体保護法指定医師審査委員会委員の委嘱について（三戸常任理事）

北海道産婦人科医会からの選出委員1名の交代について承認。

(2) 北海道医師会勤務医部会若手医師専門委員会委員の委嘱について（三戸常任理事）

当会勤務医部会設置規程に基づき、次世代を担う若手医師の意見を部会活動に反映させることを目的に専門委員会を設置し、当委員会に参画いただく委員8名を委嘱することを承認。

(3) 日本医師会会内委員会委員の推薦について（三戸常任理事）

日本医師会より北海道ブロックに対し、20の委員会委員(21名)の推薦依頼があり、当会副会長3名ならびに常任理事14名のほか、当会会員の中から4名の計21名を推薦することを承認。

(4) 外部各委員会等委員の推薦について（三戸常任理事）

前回の理事会(5月21日)以降推薦依頼のあった、公益財団法人北海道対がん協会理事(副会長)に小熊副会長、小児等在宅医療連携拠点事業協議会委員に三戸常任理事、北海道がん対策推進委員会(がん検診専門部会)特別委員に伊藤常任理事をそれぞれ推薦することを承認。

5. 協議事項

第1号 平成28年度会費減免に関する件

(三戸常任理事)

道医会費の減免申請者は、高齢免除954名、一般減免12名、研修医減免131名、出産育児減免3名の合計1,100名で免除額27,136,000円、日医会費の減免申請者は、高齢免除398名、一般免除13名、研修医減免124名の合計535名で免除額11,694,000円となり、以上の減免申請を承認決定。

第2号 平成28年度北海道医師会賞受賞者に関する件（小熊副会長）

北海道医師会賞受賞候補者7名を受賞者とすることと決定。

第3号 第2回郡市医師会長協議会[11月13日(日)]の開催に関する件（三戸常任理事）

11月13日(日)午前10時から北海道医師会館において開催することと決定。

第4号 北海道医師会創立69周年記念行事[11月13日(日)]の開催に関する件（三戸常任理事）

11月13日(日)午後1時30分から札幌グランドホテルで開催する記念講演、記念式典、記念祝賀会の日程と次第を決定。

第5号 理事提案事項

特になし。

第6号 その他

(1) 第4回理事会(移動)[10月8日(土)・小樽市]の開催スケジュールに関する件(三戸常任理事)

10月8日(土)に小樽市で開催する会議スケジュールを決定。

6. 道総医協関連事項（深澤副会長）

5月21日開催の第2回理事会以降に開催された第51回総会ほか5会議について報告した。総会では、3専門委員会(救急医療・地域医療・地域保健)の委員長からの昨年度協議実施状況の報告のほか、本年度の協議予定事項を承認した。

7. 閉会

第12回常任理事会

日時 平成28年8月22日(月) 18:30～19:05

場所 北海道医師会館9階・理事会室

出席者 長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・岡部・伊藤・生駒・笹本・櫻井各常任理事、津田・藤瀬・篠島各監事

(事務局：安達局長ほか12名)

協議事項

第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件

(三戸常任理事)

新規申請者3名、再審申請者6名の計9名を指定医師とすることと決定。

第2号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件（生駒常任理事）

認定要件を満たした新規25名(非会員3名含む)・更新11名の申請を承認し、日医へ申請することと決定。

第3号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件（岡部常任理事）

認定要件を満たした更新申請者2名承認し、日医へ申請することと決定。

第4号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（櫻井常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座48件・道医認定生涯教育講座27件の計75件を承認することと決定。

第5号 その他

(1) 9月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

1. 緊急臨時的医師派遣事業 第7回運営委員会[8月16日(火)]について（藤原副会長）

9月以降の医師派遣申請、新規2件について内容を精査し、派遣することを決定した。

2. 北海道医療・福祉関係職能団体等意見交換会[8月19日(金)]について（藤井常任理事）

医療ならびに福祉関係に関わる職能団体の方々それぞれの立場からご発言いただき意見交換をする

ことを目的に年2回開催している。第1回目は、30団体65名が参集し、北海道鍼灸柔整マッサージ師会から「はりきゅうマッサージの療養費の取り扱いについて」をテーマに話題提供があり、その後意見交換を行った。次回は、北海道放射線技師会が話題提供を担当して、来年に開催の予定である。

3. 政経問題懇話会〔8月20日(土)〕について

(笹本常任理事)

内閣官房 まち・ひと・しごと創生会議有識者委員を務めている帯広畜産大学・山本監事を招聘し、「地方創生と地方大学の役割」というテーマで、これからの北海道農業および大学のあり方などについてお話しいただいた。

4. 外部各委員会報告

(1) 北海道医療審議会医療法人部会〔8月10日(水)〕について(深澤副会長)

社会医療法人の認定2件、病院・医科診療所の設立26件、医療法人の解散7件、医療法人の合併1件、非医師理事長の選出1件が上程され、すべて承認した。

(2) 北海道医療審議会地域医療部会〔8月10日(水)〕について(藤原副会長)

診療所における病床設置の届出があった1件(周産期医療)について承認した。その後、地域医療支援病院における救急要件の事務取扱い(案)について説明があり、引き続き検討することとなった。

5. 中央情勢報告(笹本常任理事)

「第3次安倍第2次改造内閣について」

8月3日に発足した改造内閣における閣僚メンバーおよび厚生労働省副大臣・大臣政務官などの略歴について解説した。

6. 各部報告

(1) 第3回地域医療部担当理事会〔8月17日(水)〕について(伊藤常任理事)

第39回東北・北海道医師会共同利用施設連絡協議会(本年9月3日～4日、函館市)の準備状況の確認と、急増する来道外国人旅行者に対応するために、北海道運輸局観光部が実施する訪日外国人医療受入体制調査の内容について協議を行った。

